

早期食道胃接合部癌における

当院での治療成績の検討

研究対象：

2008年1月より2014年11月までに国立がん研究センター東病院にてcT1a or T1b,NO,MOと診断された早期食道胃接合部癌66名の患者さんを対象とします。

研究の概要：

本邦において食道胃接合部がんは治療法の選択・適応など議論の余地が残る領域です。当院での早期食道胃接合部癌の治療戦略として、ESDの適応または拡大適応病変に関しては基本的にESD、ESD適応外で食道浸潤が3cmを超えるがん、もしくは扁平上皮がんに対しては食道亜全摘+3領域郭清、それ以外は胃がんに準じた手術+下縦隔リンパ節郭清を行い、2010年からは胸腔鏡や腹腔鏡手術も積極的に導入しています。

全国的に報告が少ないのが現状であり、当院での早期食道胃接合部がんの治療成績を検討し、今後の治療法選択に役立てることは非常に有用です。

研究の意義：

本研究では、これまでに行われてきた早期食道胃接合部がんに関してリンパ節転移頻度や再発形式、その他の成績を検討し、当院の治療法選択の妥当性を検討することを目的としています。今後、早期食道胃接合部がんの治療法を選択する際に本研究により報告されたデータに基づくことで、より合理的な治療法確立の一助となります。

目的：

本研究は早期食道胃接合部がんの現在までの治療成績につき検討し、治療法の妥当性を検討、今後の治療法の選択に役立てることを目的とします。

方法：

2008年1月より2014年11月までに国立がん研究センター東病院にてcT1a or T1b,NO,MOと診断された早期食道胃接合部癌66名の患者さんに対して各種治療の成績、リンパ節転移頻度、再発形式の検討、再発に寄与するリスク因子の検討などを行います。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用で別途割り振られた研究番号を用

いて管理し、個人情報が出ることはありません。患者さま等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

照会先および研究での利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 胃外科 杉田 静紀

FAX 04-7131-4724 / TEL 04-7133-1111 (内線 91380)

MAIL shisugit@east.ncc.go.jp